

# 安全大会を開催しました

6月11日(火)  
@東大阪工場



6月11日東大阪事業所に於いて、安全大会が行われました。熱中症対策の講義、足場と今後義務化されるフルハーネスについての講義、2018年事故統計報告、ヒヤリハットアンケート結果報告とそれに関わる質疑応答が行われました。熱中症の講義は、大阪人間科学大学人間科学部健康心理学科 村上雅彦准教授の指導に基づき営業出口くんにより講義が行われました。参加した協力会社の方々からもこれからの時期に役立つという声が聞けました。



質疑応答では社内のヒヤリハットアンケートに基づき社員からのヒヤリハットの報告と、参加して頂いた協力会社の方々から率直な意見を頂き活発な意見交換が行われました。参加者アンケートの結果からもヒヤリハットアンケートの質疑応答が良かったという意見を多く頂き、今後の安全大会でもこういったディスカッションの場を設けていきたいです。



**ご参加いただいた皆様ありがとうございました!**



## 今年の夏は『雨が多い』

7月以降は梅雨前線の北上に加え、高気圧の周りを吹く湿った風が影響し、雨の日が多くなりそうです。梅雨末期の大雨や、梅雨明け後の局地的な強い雨に注意が必要です。今年の夏は盛夏期が長く続かない可能性があり、今の所去年のような猛暑になることはなさそうです。一方で、雨の量は多くなるため、雨への対策は今年も必須になります。

### 降水量の増加にはエルニーニョ現象の影響が!

エルニーニョ現象が発生すると、西太平洋熱帯域の海面水温が低下し、西太平洋熱帯域で積乱雲の活動が不活発となります。このため日本付近では、夏季は太平洋高気圧の張り出しが弱くなり、気温が低く、日照時間が少なくなる傾向があります。また、西日本日本海側では降水量が多くなる傾向があります。

エルニーニョ現象と言えば「冷夏」という言葉を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。エルニーニョ現象は日本付近では気温を下げる特徴があるものの、地球温暖化の影響で夏の平均気温は年々高くなっており、全国の広範囲で「冷夏」になる可能性は低いと言えるでしょう。

**これから多くなる野外現場、熱中症だけではなく雨への対策にも注意が必要です**

